

No.25-90 硬質炭素系薄膜の成膜, トライボロジー基礎, Raman分析の基礎 から指向性表面増強ラマン分析まで (一般社団法人 日本機械学会 機械材料・材料加工部門 企画)

開催日 令和7年8月29日(金) 13:00 – 16:00 (途中休憩を含みます)
会場 オンライン開催 (Teams)

趣 旨

産業分野において、表面の取り扱いはいまますます重要性が高まっている。半導体産業や真空装置内部における低発塵、低摩耗、低付着や低摩擦は重要課題でありながら、材料開発は滞っていた。1990年代以降、研究分野では炭素系硬質薄膜が盛んに行われてきたが、企業導入のためには装置のランニングコストが高く、レシピ開発だけでも数年間の歳月とコストがかかるため、安易に社内導入ができない問題があった。本講習会では、このような表面に関する一般的な知識としてトライボロジーに関わる基礎知識、名古屋大学梅原・野老山研究室で扱っているシーズ紹介、炭素系硬質薄膜の成膜技術とRaman分光法による膜質評価、さらに最表面2 nm以下の評価を可能とする表面増強ラマン分光法について紹介する。

参加登録費

参加申込および参加登録費は事前受付とさせていただきます。いずれも税込み

参加登録費	
日本機械学会正員、特別員、協賛学協会会員	10000円(税込み)
会員外	20000円(税込み)
学生会員・協賛学会学生会員	2000円(税込み)
非会員学生	5000円(税込み)

ホームページ

詳細は下記をご参照ください。

<https://www.jsme.or.jp/event/25-90/>